

(6) 美謝川の切替え

美謝川の切替えの平面図を図-2.4.2.65に、標準断面図を図-2.4.2.66に、縦断面図を図-2.4.2.67に示します。

美謝川の切替えは、表-2.4.2.18に示すように Phase1～3 の3段階で、それぞれ図-2.4.2.68及び図-2.4.2.69に示した位置で工事を行います。

表-2.4.2.18 美謝川の切替え概略工程

工種	Phase-1		Phase-1				Phase-2				Phase-3			
	1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目	13月目	14月目
準備工														
開水路工2														
掘削工			2h-1t				2h-1t							
埋戻工							2h-1t							
残土			2h-1t				2h-1t							
護岸工							2h-1t			2h-1t				
開水路工1														
掘削工											2h-1t			
埋戻工														2h-1t
残土											2h-1t			
護岸工													2h-1t	
暗渠工2														
掘削工			2h-1t											
埋戻工						2h-1t								
残土			2h-1t											
躯体工						2h-1t								
仮設工			設置			撤去								
暗渠工1														
掘削工				2h-1t			2h-1t			2h-1t			2h-1t	
埋戻工							2h-1t			2h-1t			2h-1t	
残土				2h-1t			2h-1t			2h-1t			2h-1t	
躯体工							2h-1t			2h-1t			2h-1t	
仮設工			設置			撤去	設置			撤去	設置		撤去	設置
洪水吐き工														
掘削工								2h-1t			2h-1t			
埋戻工											2h-1t			2h-1t
残土								2h-1t			2h-1t			2h-1t
躯体工									2h-1t		2h-1t			2h-1t
緩勾配水路														
掘削工								2h-1t						
埋戻工											2h-1t			
残土								2h-1t						
躯体工									2h-1t					
接続部														
掘削工				2h-1t			2h-1t							
埋戻工							2h-1t							2h-1t
残土				2h-1t			2h-1t							2h-1t
躯体工							2h-1t							2h-1t
仮設工				設置			撤去	設置			撤去			設置
後片付け														

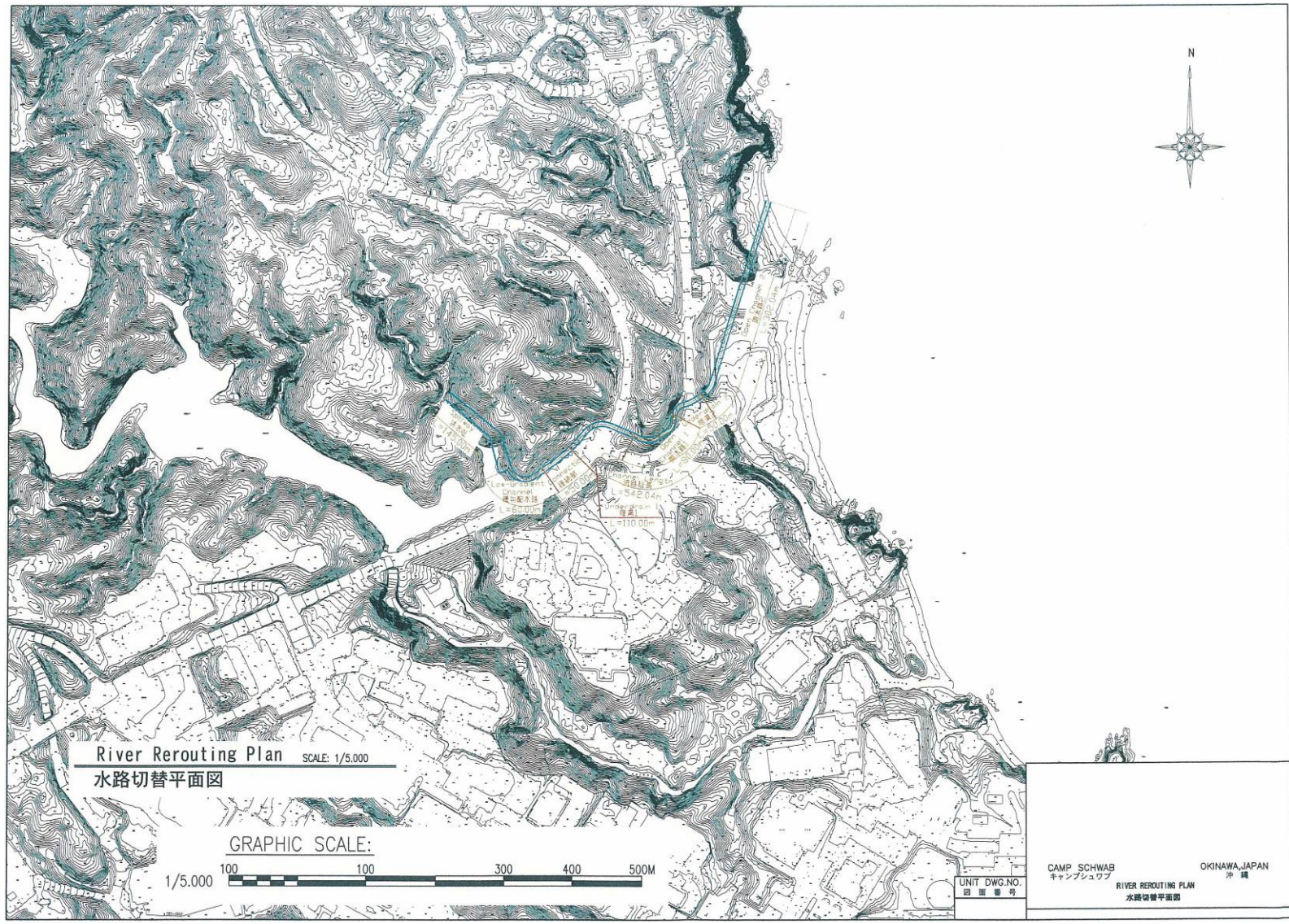


図-2.4.2.65 美謝川の切替え平面図

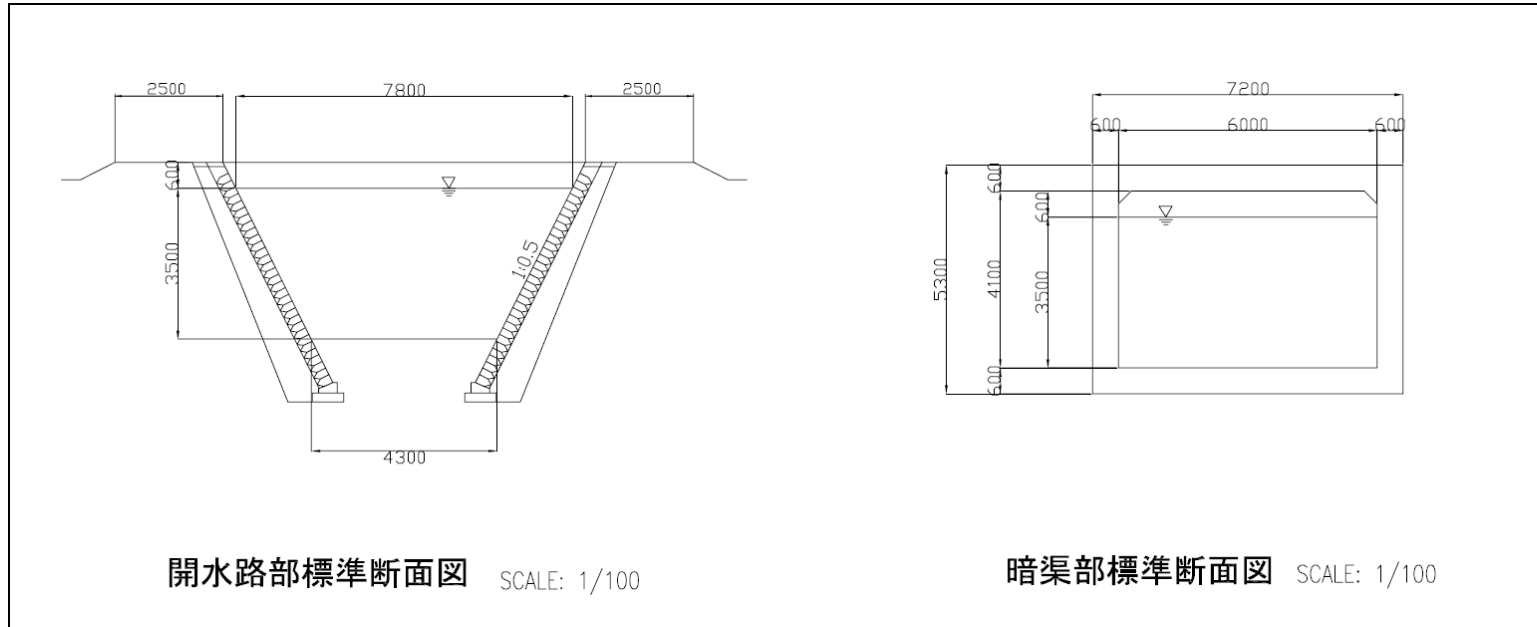


図-2.4.2.66 美謝川の切替え標準断面図

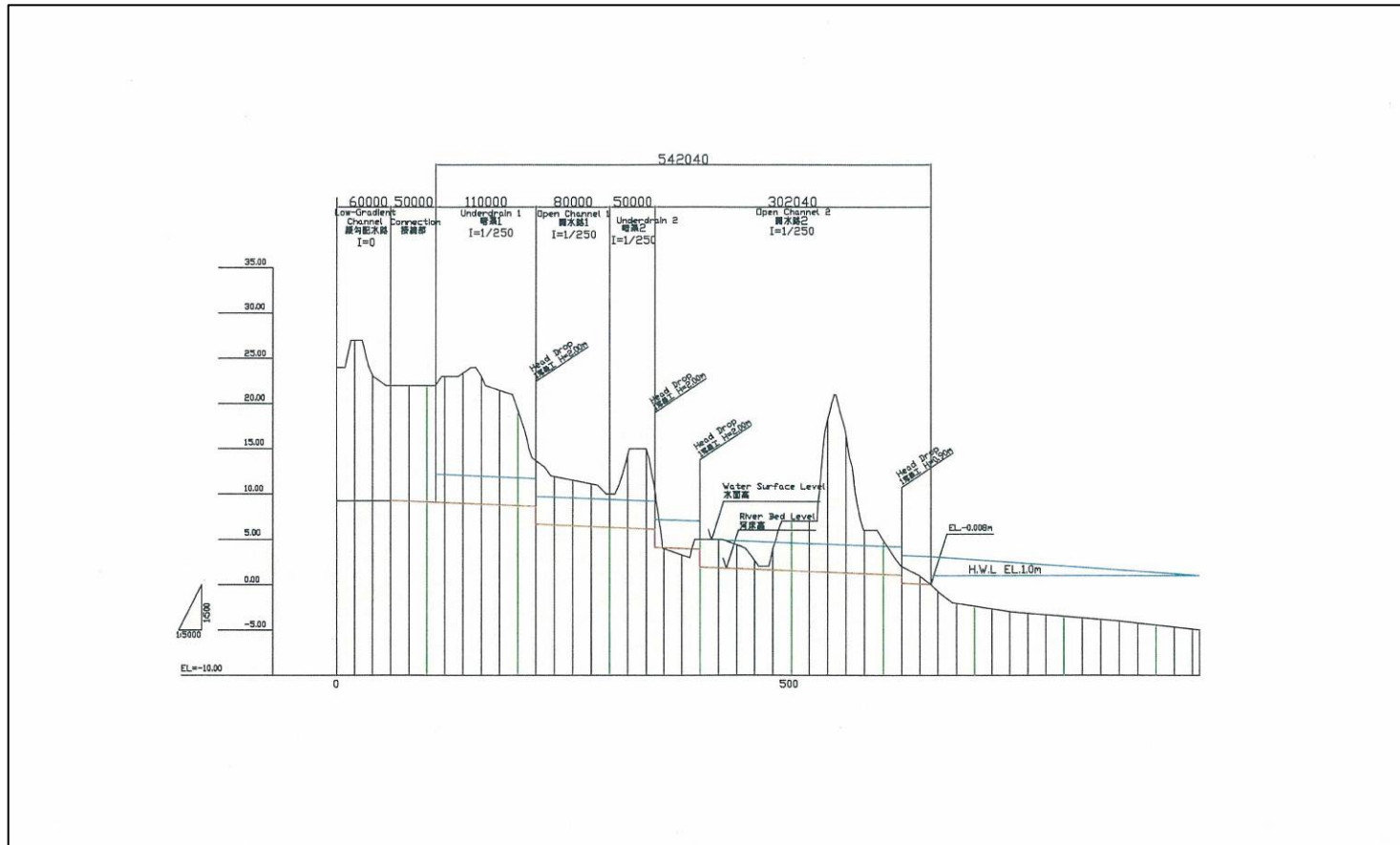


図-2.4.2.67 美謝川の切替え縦断図

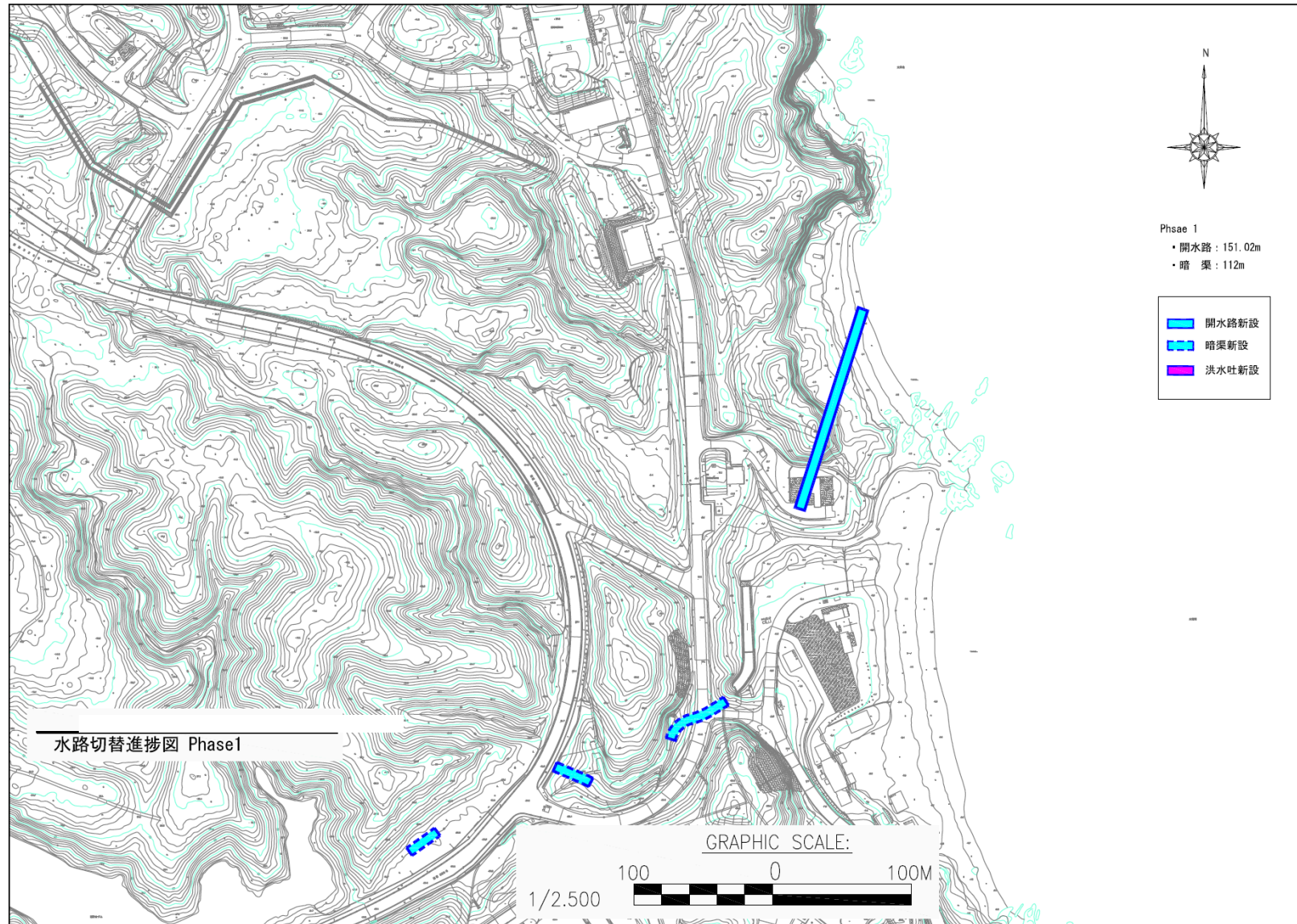


図-2.4.2.68(1) 美謝川の切替え進捗図 (Phase1)

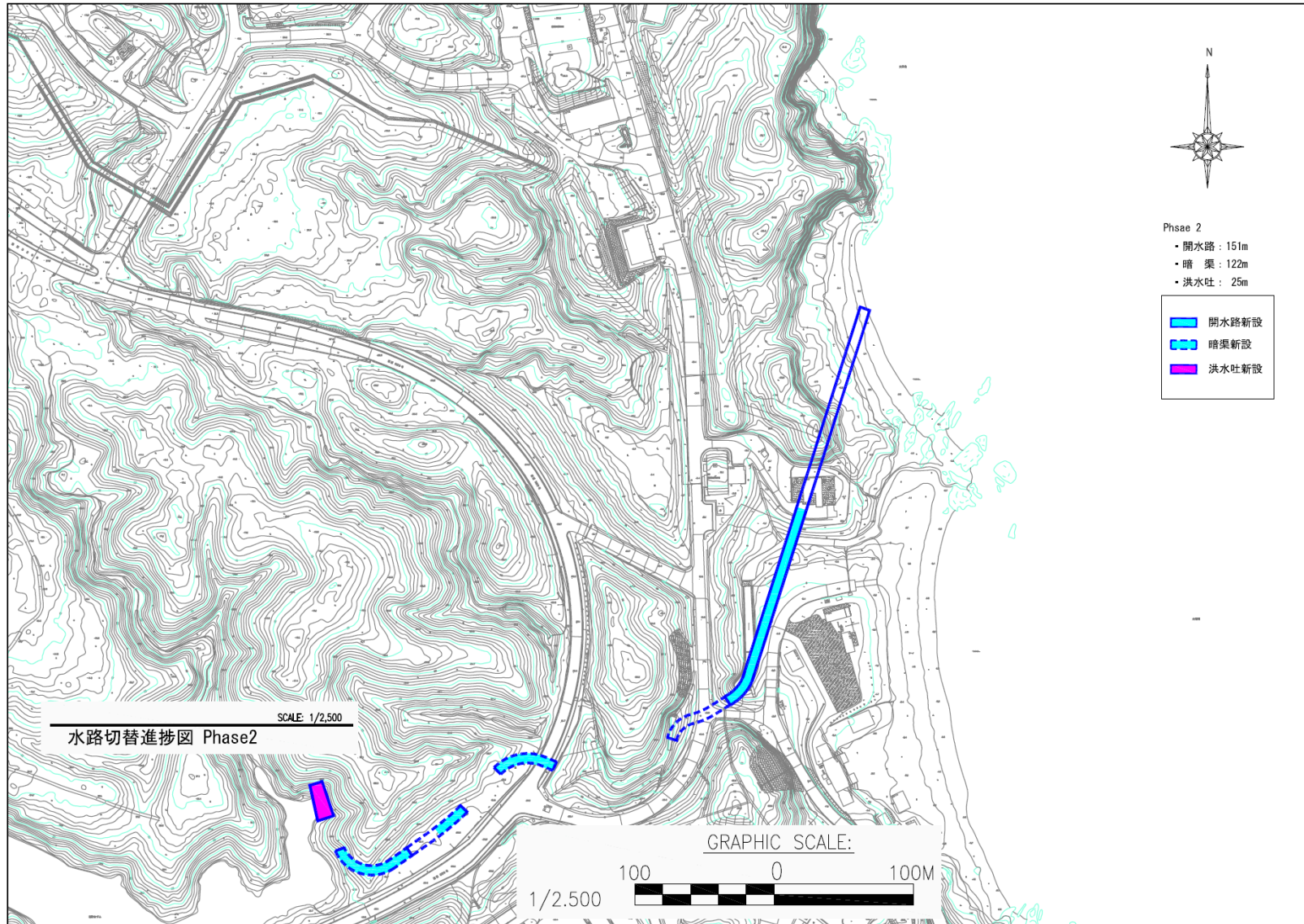


図-2.4.2.68(2) 美謝川の切替え進捗図 (Phase2)

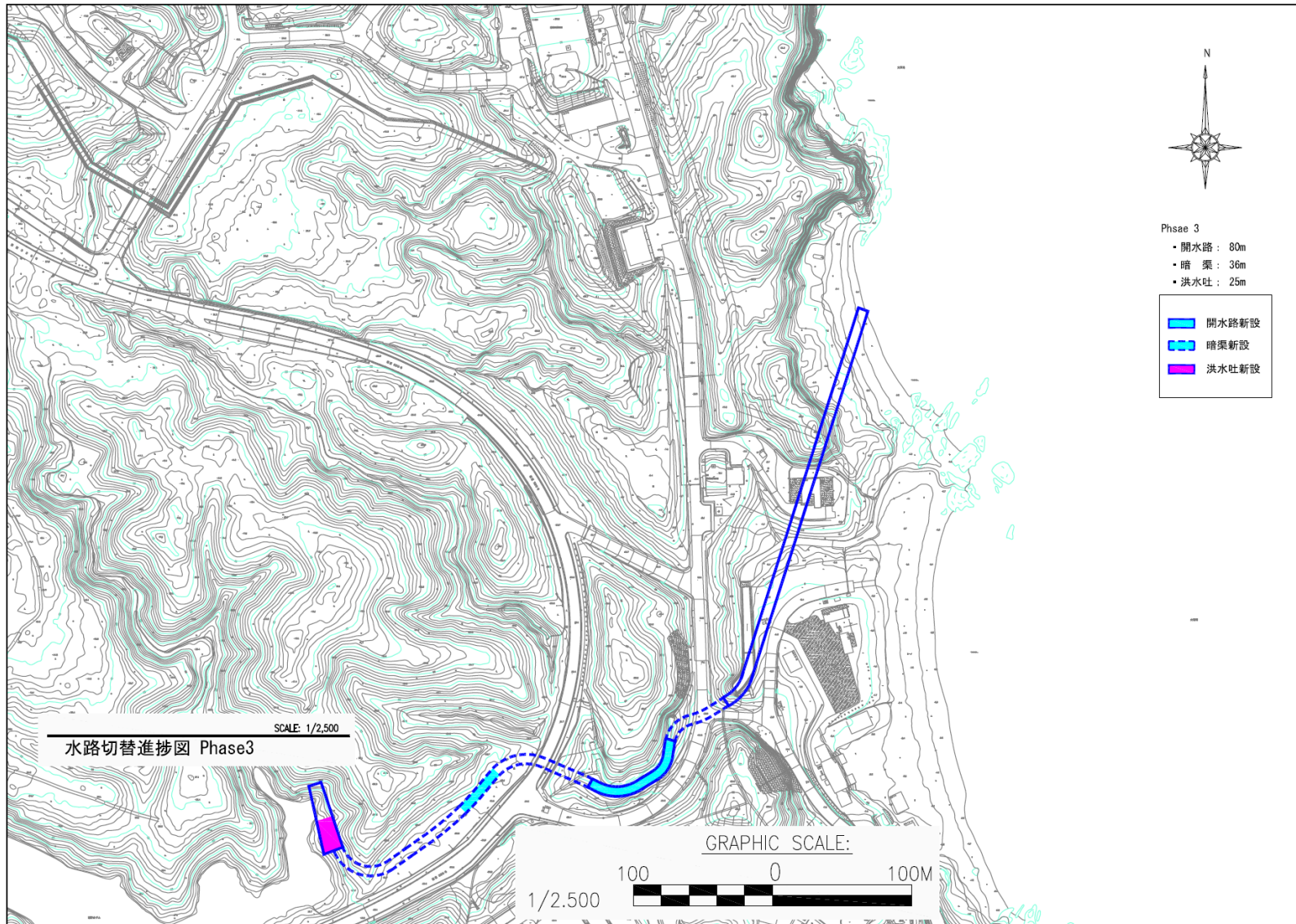


図-2.4.2.68(3) 美謝川の切替え進捗図 (Phase3)

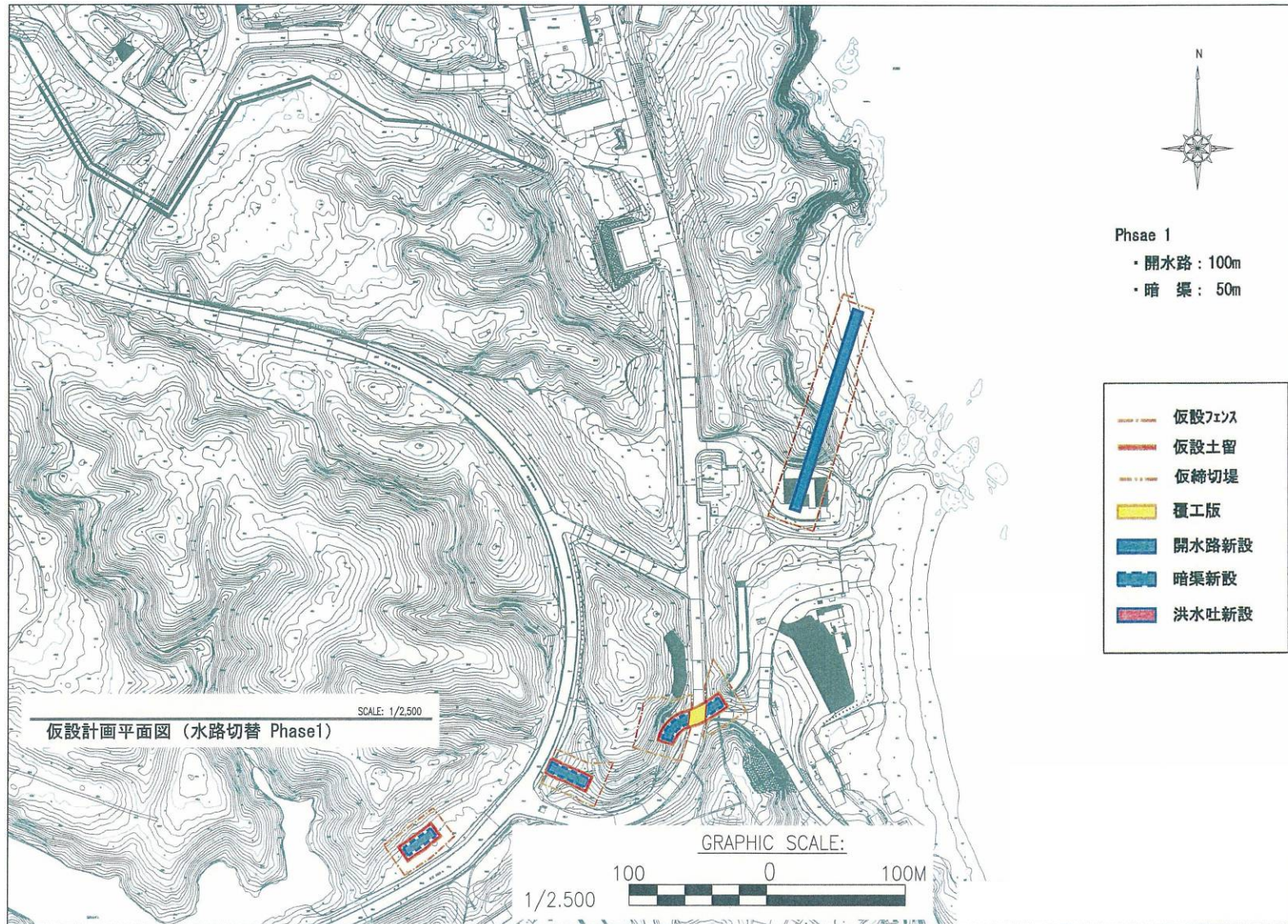


図-2.4.2.69(1) 美謝川の切替え仮設計画平面図（Phase1）

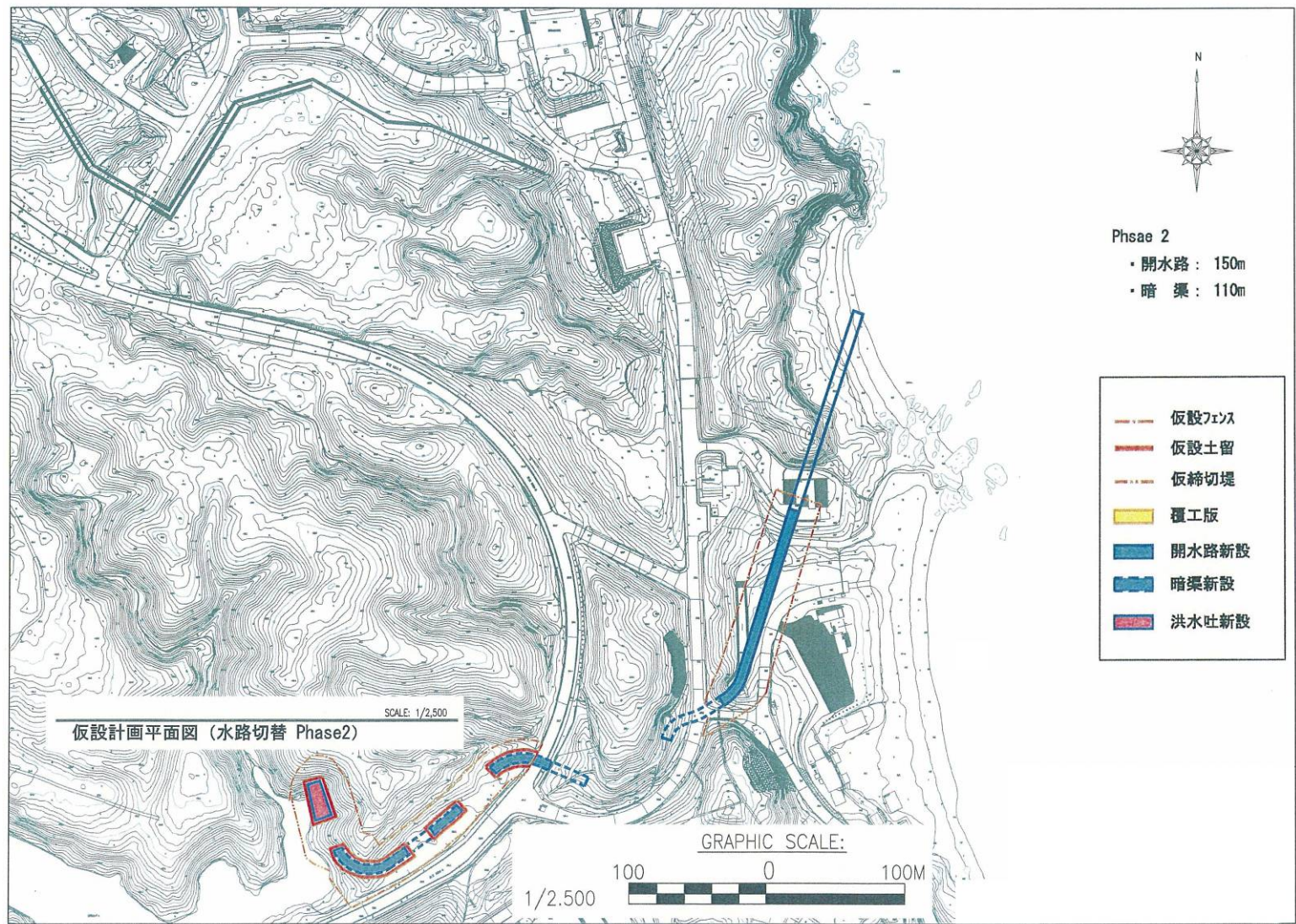


図-2.4.2.69(2) 美謝川の切替え仮設計画平面図 (Phase2)

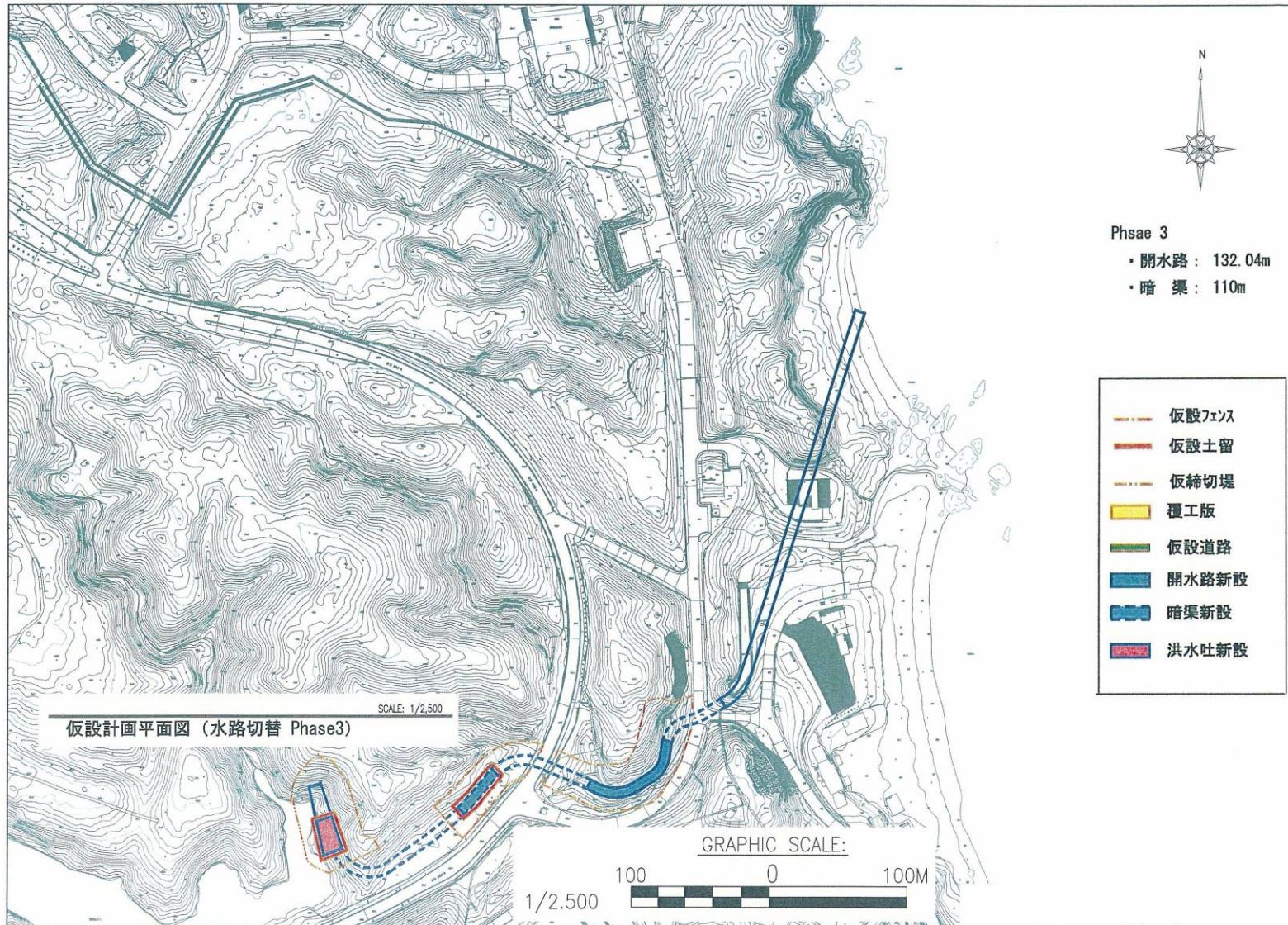


図-2.4.2.69(3) 美謝川の切替え仮設計画平面図 (Phase3)

2.4.3 飛行場及びその施設の設置に係る工事計画

(1) 舗装工事

舗装工事は、滑走路、誘導路、エプロンその他について図-2.4.3.1に示すPhase-1～4の施工区分ごとに、図-2.4.3.2に示す施工フローにしたがって行います。なお、舗装工事では工事最終年次（5年次）の約3ヶ月間、コンクリートプラントを設置し、夜間にも工事を行う予定です。

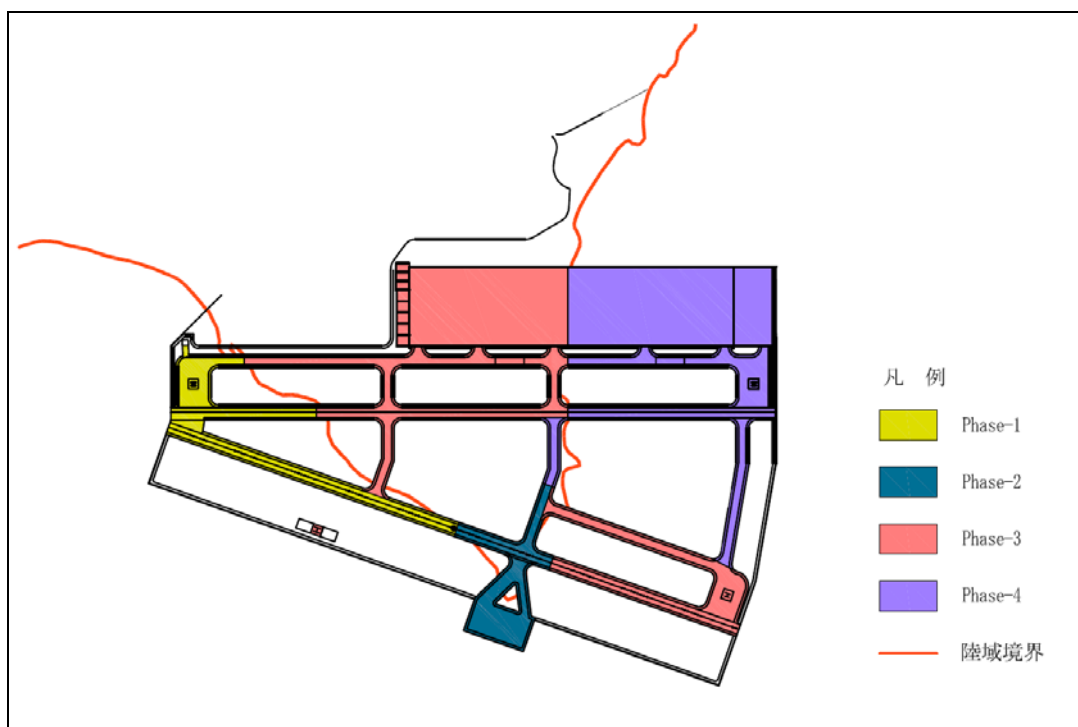


図-2.4.3.1 舗装工事施工区分図

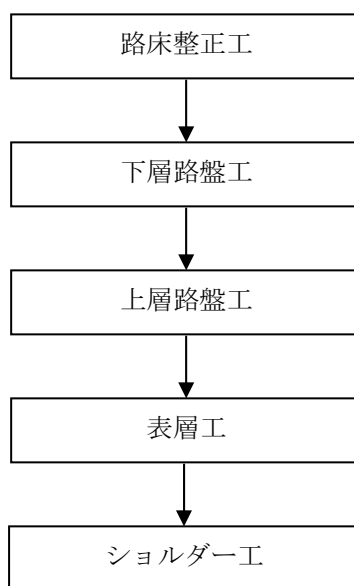


図-2.4.3.2 舗装工事施工フロー

(2) 雨水排水工事

飛行場内の雨水排水については、名護市の気象庁観測所の降雨量（1975～2007年の32年間）を使用して、確率降雨年を10年とし、降雨による流出量を道路土工指針に基いた短期降雨強度式（ $I_{10}=9,000/(t+52.5)$ 、 t は流達時間(分)）により算定しました。

雨水排水工事は、図-2.4.3.3に示す排水系統となるよう行います。

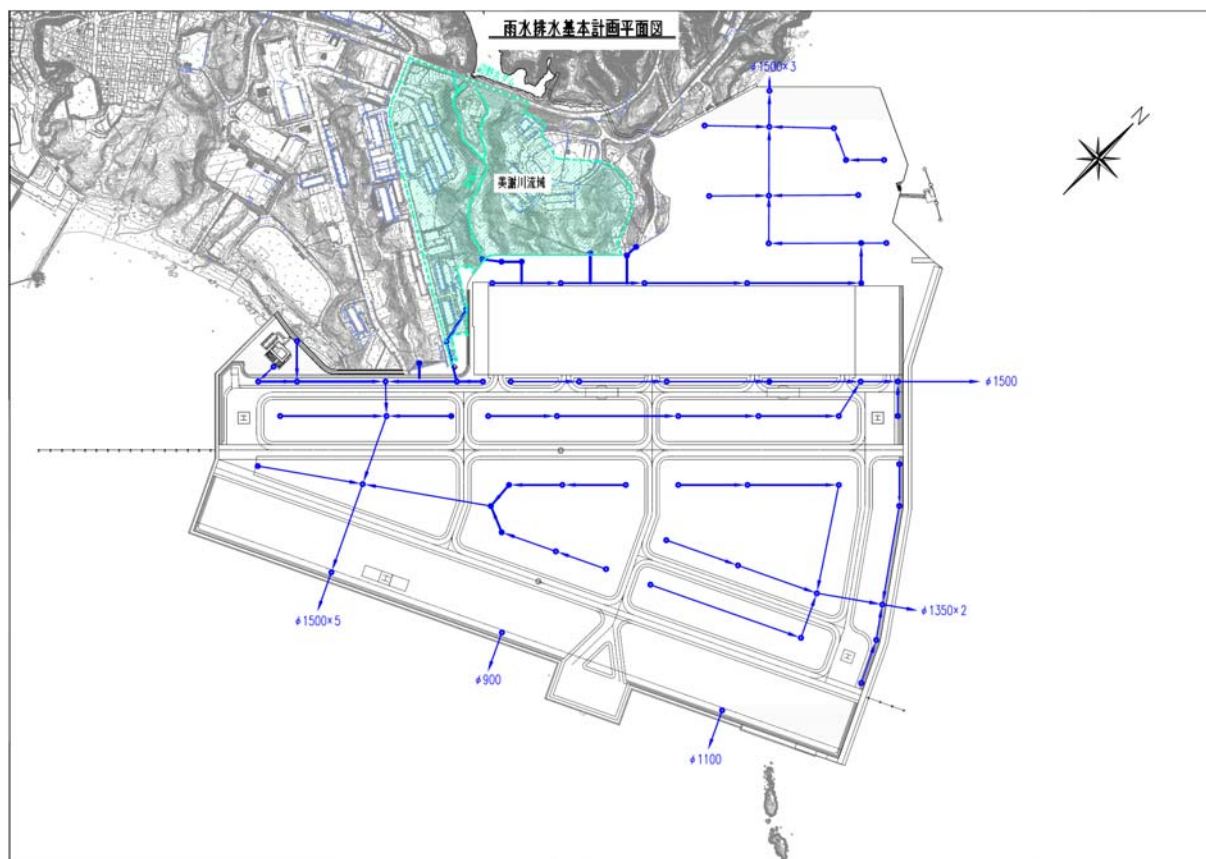


図-2.4.3.3 雨水排水系統図